

平成30年8月吉日

会員会社代表者各位

品質管理部門担当役員様

株式会社 自動車部品会館
(協賛(一社)日本自動車部品工業会 関東支部)

平成30年10月18日(木)～19日(金)

「IATF16949 コアツール実践2日間研修」のご案内

平素は当会館の事業につきまして、ご高配ご協力賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、株式会社 自動車部品会館では一般社団法人 日本自動車部品工業会 関東支部会員企業様における IATF16949 認証取得活動への支援として、IATF16949 を構築、運用するうえで必須のツールである6つのコアツールに関して、運用手法の解説ならびに演習を通じてわかりやすく修得していただく為の「**IATF16949 コアツール実践2日間研修**」を**平成30年10月18日(木)～19日(金)**に開催いたしますので、ご案内申し上げます。

研修内容の詳細は、別紙のとおりでございますので受講をご希望される方は別紙受講申込書により、平成30年10月11日(木)までにお申込下さいますようお願い申し上げます。

10月18日(木)～19日(金)

IATF16949 コアツール実践 2日間研修のご案内

I. 講師：あどぼる経営研究所/中小企業診断士 Office 所長
ISO9001&ISO14001 審査員
中小企業診断士
認定SOXアドバイザー/上級内部統制管理士
草野 喜義氏

III. 日程

開催日時：平成30年10月18日(木)～19日(金)
(午前9時30分～午後5時00分まで)

III. 開催場所：自動車部品会館 601会議室(6階)
東京都港区高輪1-16-15(同封地図参照)
電話03-5422-6351

IV. 受講料：64,800円(税込・昼食代を含む)
(JAPIA 会員会社は43,200円)
(JAPIA 会員中小企業優待価格32,400円)

◎ 申込要領

①受講申込書に受講者の会社名、住所、電話、所属、役職名及び氏名を明記して、10月11日(木)(必着)までにFAX又はメール及び弊社ホームページよりお申込下さい。

折り返し申込受付票をお送りいたします。万が一、申込み後に参加を取り消す場合は必ず下記までご連絡下さいますようお願い致します。

②受講料の請求書を郵送致しますので、銀行振込にて10月11日(木)までにお支払ください。(振込手数料は貴社でご負担頂きますようお願い致します)

③受講希望者が募集人数(20名)になり次第締め切らせていただきます。

★参加お申込み後のキャンセルは10月11日(木)までといたします。
以降のキャンセルはお受けいたしかねます。代理の方にご出席いただくか後日テキストを郵送させていただきます。

★受講希望者が少数の場合は、中止となることがありますのであらかじめご了承ください。

★コアツール研修にはノートPC及び電卓(関数計算できるもの)を必ずご持参下さい。

◎ 申込先および問い合わせ先

自動車部品会館 総務部 飯島 電話：03-5422-6351

ijima@japia.or.jp

IATF 16949 コアツール研修会のご案内

1. コアツール研修会の概要

- (1) APQP (先行製品品質計画)、CP (コントロールプラン)、PPAP (生産部品承認プロセス)、FMEA (潜在的故障モード影響解析)、SPC (統計的工程管理) 及び MSA (測定システム解析) について手法の概要と IATF16949 規格要求事項との関係について解説します。
- (2) IATF16949 を構築、運用する場合、規格要求事項及び顧客要求事項としてその使用を求められており、必須のツールとして導入する必要がある、研修会では運用方法の基本について演習を通じて修得します。
- (3) 各コアツールの概要
 - ① APQP (先行製品品質計画)
 - APQP は、製品品質計画とコントロールプランとで構成されています。製品品質計画とは新製品企画開発段階から生産着手までを 5 段階に分けて、各段階で検討する項目 (インプット項目とアウトプット項目) について定めた指針です。IATF16949 及び PPAP と関連付けて理解しやすく解説します。
 - ② CP (コントロールプラン)
 - CP は、部品とプロセスを管理するシステムを記述した品質計画書です。既に各企業では QC 工程図として導入されていますが、IATF16949 で要求する CP との共通点及び相違点について解説します。
 - ③ PPAP (生産部品承認プロセス)
 - PPAP は、サプライヤー (IATF16949 導入企業) が顧客の設計文書・仕様書に示された要求事項を正しく理解しているかを判定し、プロセスが必要な生産能力を持っているかどうかを判定するために、生産部品 (生産材料・バルク部品) 承認のための要求事項を規定したものです。
 - ④ FMEA (潜在的故障モード影響解析)
 - FMEA は、製品・プロセスの潜在的故障と影響を評価し、その発生の機会を低減するための処置を決定するための活動を規定したものです。
 - ⑤ SPC (統計的工程管理)
 - SPC は、要求事項を満たした製品を一貫して生産するために、工程を統計的手法を用いて管理する方法を規定したものです。統計的手法についても初心者でも理解できるようにご指導します。
 - ⑥ MSA (測定システム解析)
 - MSA は、測定機器、測定要員、測定手法などから構成される測定システムの信頼性についての評価手法です。偏り、直線性、安定性、繰返し性及び再現性の 5 特性に関する統計的解析・評価の実施について、計量値及び計数値の GR&R 演習を通して理解します。

2. 本講座の特長

- (1) コアツールを構築、運用するスタッフに対して手法の解説、演習を通じてわかりやすく解説します。
- (2) 簡易ソフトを使用していただき、統計的手法を優しくかつ実践的に理解していただきます。
- (3) コアツールの運用手順、仕組みを構築する必要があり、手順書事例及びビッグ3が提供するリファレンスマニュアルの参考資料をご紹介します。IATF16949 の推進者、管理者にとって有益な参考情報となります。
- (4) IATF16949 : 2016 規格要求事項では、顧客要求事項として、IATF/OEM メンバーが共同開発した、リファレンスマニュアルへの適合を要求しており、これらのマニュアル資料を組織として準備、入手することは必須になっていますが、本講座ではこれらの資料をテキストとして配布します。
- (5) 演習、簡易統計ソフトの活用により、コアツールを作成する時間を短縮し、ツールの活用、解析を重視したプログラムで実践的に運用できるように配慮しています。
- (6) このことにより、6つのコアツール手法を2日間で修得できるように工夫しました。

3. 対象者

- (1) IATF16949 の規格要求事項の 基本理解が出来ている方

- (2) IATF16949 導入に関心のある企業の管理者、推進者及びスタッフ
- (3) IATF16949 認証取得活動でコアツールの仕組みと実践が必要な企業の管理者、推進者及びスタッフ
- (4) 自動車部品や自動車関連機器メーカーの管理者及びスタッフ
- (5) IATF16949 内部監査員として、コアツールの知識、運用、監査のポイントをさらに詳細を理解したい方

4. カリキュラム

IATF16949／コアツール研修会／2日コース／タイムスケジュール

日	テーマ	No	内 容	時 間	テ キ ス ト	補助テキスト
一 日 目	オリエンテーション	0	研修会の概要説明	9:30~9:45		
	コアツールとは	1	IATF16949 コアツールの要点	9:45~12:00	IATF16949 コアツールの要点 コアツール運用手順書事例	IATF16949:2016 規格要求事項/ ハンディ
	昼 休 憩			12:00~13:00		
	APQP&CP	2	APQP 手順書草案作成	13:00~14:00	APQP 手順書事例	APQP&CP/翻訳
		3	先行製品品質計画書様式作成			APQP 計画資料/ 様式
		4	コントロールプラン様式及びチェックリスト			
	PPAP	5	PPAP プロセスフローチャート	14:00~15:00	PPAP/翻訳	PPAP/付属書/翻訳
		6	PPAP と APQP		PPAP と APQP アウトプット	
		7	PPAP と IATF16949 要求事項			
	FMEA 演習	8	FMEA 様式作成	15:00~17:00	FMEA 様式事例	
9		FMEA ケーススタディ	FMEA ケーススタディ			
10			FMEA の構築・運用手順書事例			
二 日 目	SPC 演習	11	Stat Works ソフトのダウンロード	9:30~10:00		SPC/翻訳
		12	Stat Works ソフトによる Xbar-R 管理図の作成	10:00~11:00	SPC&MSA ケーススタディ	
		13	エクセルによる Xbar-R 管理図の作成	11:00~12:00		
	昼 休 憩			12:00~13:00		
	MSA 演習	14	Stat Works ソフトによる測定器の安定性評価	13:00~15:30	MSA の構築・運用手順書事例	
15		Stat Works ソフトによる測定器の繰り返し性評価	SPC&MSA ケーススタディ			
16		Stat Works ソフトによる測定器の偏り評価				
17		Stat Works ソフトによる測定器の直線性評価				
18		Stat Works ソフトによる測定システムの総合評価	15:30~16:30			
総合 Q&A				16:30~17:00		

5. 受講者の準備事項

- (1) 演習用テキストデータ (エクセル) の各 PC へのインストール
* 2 日目の開始時
- (2) Stat Works ソフトのインストール (演習用としては無料ソフトを下記手順によりダウンロードして使用)
* 2 日目の開始時
 - ① (株) 日科技研 : JUSE-StatWorks/V5 を検索
 - ② 無料体験版ダウンロードを選択
 - ③ JUSE-StatWorks/V5 総合編プレミアムを選択
- (3) ノート PC 及び関数電卓 (√ (ルート) 計算のできるもの) を持参
- (4) IATF16949:2016 規格及び ISO9001:2015 規格の事前学習

◇ 講師プロフィール



草野喜義 (くさの きよし)

- あどばる経営研究所／中小企業診断士 Office 所長として、中堅・中小企業の育成支援、ISO認証取得支援、ISO内部監査員養成研修、各種研修会・セミナー講師として幅広く活躍している。
- ISO認証取得コンサルティングはISO9001,ISO14001,ISO27001,ISO13485,ISO22000,ISO/TS16949, JISQ9100,OHSAS18001,JISQ15001 等約310社の取得支援実績があり、これらの全ての規格に対して内部監査員養成研修講座の主催を通じて約11,000人の内部監査員を養成している。
- 現場の実践的改善手法(コストダウン手法、品質改善手法、ジャストインタイム手法、PM分析手法など)を通じて、実質的なコストダウン、生産性改善により顧客企業の経営課題の解決、改革・改善の成果を出すことは、コンサルティングの基本姿勢としており、『あどばるポリシー』で顧客企業を応援しています。

あどばる

*Additional Value(付加価値) は、あどばる経営研究所の心です・・・あどばるポリシー

- 資格
中小企業診断士 ISO9001&ISO14001 審査員 認定SOXアドバイザー/上級内部統制管理士
- 経歴
大阪大学溶接工学研究課程修士修了
トステム(株)(現LIXIL) 海外事業室長/技術統括部長/工場長/TBI 事業部長

FAX 03-3447-5372

自動車部品会館 飯島宛 (iijima@japia.or.jp)

2018年10月18日(木)～19日(金)

「コアツール実践研修2日間コース」申込書

申込日： 年 月 日

会社名：

送り先住所： 〒

TEL：

FAX：

メールアドレス

所属・役職：

氏名：

ローマ字：

よみ：

備考：

※申込書受付票を折り返しFAX致しますので、必ずFAX番号もご記入ください。